

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		インクルーシブデイサービスippo		公表日		令和8年 3月31日	
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	個別スペース、自由スペースと分けてありワンフロアの中でも工夫をされてるなと思う。必要に応じて面接室?などを解放して、折り紙をやる子などの空間分けをしてもいいかと思いました!		活動内容に応じて「静」と「動」のエリアを意識したゾーニングを行い、子どもたちが安心して活動に取り組める環境づくりに努めてまいります。
3	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用人数が平均的に多いのでもう少し目があると余裕のある対応ができるかなと思います。	また、視覚的に分かりやすい環境設定や構造化にも引き続き取り組み、子どもたちが見通しを持って過ごせる空間づくりを進めていきます。	
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	キャラバンで車椅子利用児童の送迎をしており、肢体不自由の子でも利用可能。教室もバリアフリー、トイレと洗面台も車椅子のまま利用できる。子供達の名前やロッカー、靴箱などはわかりやすいようにマークと名前が表示。	あわせて、建物内の清潔保持についても継続的に管理を行い、安全で快適な環境づくりに努めてまいります。		
4	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	トイレが綺麗!		
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日のミーティングで意見交換や自分自身の振り返りができ、とても有意義なミーティングが行えてると思います。日々のミーティングにて、目標を述べ振り返りを行っている。記憶だけでなく、データとしても蓄積できている。朝のミーティングが開所して初めての実施。改善点見つけていきたい。プラネタリウムのご希望あったので、春休みに早速いきます。	第三者評価の導入について、今後検討を進めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝のミーティングでの共有	また、全体研修の日程に参加が難しい職員についても、個別に時間を設けるなどし、すべての職員が任意の研修も受けられる体制づくりに取り組んでまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	今後検討していきたい。	あわせて、職員から研修に関する希望や意見の聴取を行い、現場のニーズに合った研修内容の充実を図ってまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	個人で希望する外部研修を積極的に受講している。研修に行きやすい環境!ありがとうございます!日程が合わず紙だけの研修参加になっているため、対面で行いたいです。話を聞きたい!		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	年度初め(4月)と決めて実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	岩田さんの作る支援計画書が素敵。世界で一つの素敵な計画書。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	みんなに共有して、具体的に何ができるかみんなで考えている。同じ方向性が確認できて嬉しい。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	毎日のミーティングで利用者の直近の様子や対応方法について話し合いが行われ職員共有がスムーズに行われている印象です。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	標準化された尺度は用いていないが、事業所で用意しているアセスメント表に基づき実施している。療育における行動観察も記録に残している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	学校や病院との連携も行っている。	お子さんの自己決定を促す支援について探求し、支援計画にも落とし込み現場に伝播していく体制を整える。集団プログラムについて、全員で同じテーマで取り組むことに課題を感じることもあるため、今後もより良いもの・それぞれが成長できるものを実施していけるよう努める。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	全員が1つは案を出してください。という発信もあり全員で取り組んでいるなと思います。全員の意見をより反映していきたい。みなさんいつもご意見、協力ありがとうございます!		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定化していると思いますがやっているメニューも必要なことだとも思っています。来年度から、運動・感覚の分野は春夏は感覚メイン(粘土、水遊び等)、秋冬は運動(室内)にしていこうかなあと考えています。来年度も楽しいプログラム		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	前記述通り、ミーティングの内容がとても濃く、その日の役割や立ち回りなどの確認もしていただけるのでとても助かります。朝ミーティングで確認、ラインで共有しています。素敵		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	朝礼にて前日の振り返りとその日の打ち合わせ、確認を行っている。次の日の朝ミーティングで、前日の振り返り。共有や改善がすぐできていると感じる。その日ではなく、次の日の朝に振り返りを活動につなげている。			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	プログラム等で基本的には、提供できているのではないかなと思う。ボランティアやお仕事体験、地域の人を巻き込んだお祭りイベントや積極的に地域のイベントに参加しているので地域の人との繋がりもあると感じる。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5	1	個別課題を自己選択し実施する形を採用しておりとても良い形だなと思いました。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	岩田さんいつもありがとうございます！
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	連携しているが、スーパーバイズの機会は設けられていない。まずは困難事例があった際に検討したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	地域向けのイベントを実施するなど地域交流を積極的に取り組んでいる印象です。学童との交流はない。地域イベント参加やお祭りの開催、外出先での交流がある。それ以外では、他事業所のお子さんとの交流の機会はつくることができた。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	連絡会、毎回参加しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	ペアレントトレーニングやご家族向けの研修の実施ができていません。今後実施したいです。保護者会等の場を設けて、プチ研修や交流会などやりたいです。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントシートの内容や聞き取りをきちんと反映すると感じる
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	家族参加型イベントをこれからも提案していきたい。来年度は、保護者のお悩み相談会や園庭開放的なやつをやってきたい。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	SNSでは動画配信など素敵な編集で投稿しており見て楽しいかなと思います。来年度も頑張って配信していきます！落ち着いたらSNS復活しましょう…
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	外国籍の方へ翻訳して療育記録作成している。個々に応じて、文章の表現やニュアンスを変えて連絡を取っている。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	今週開催予定です！！
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	紙ではあるが実際に起こったことを想定し、実技してみるのもいいかもしれない。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		職員向けの研修・訓練についてはこれまでも実施しておりますが、より印象に残り実践につながる内容となるよう、今後はロールプレイ形式の研修を積極的に取り入れ、実際の場面を想定した学びを深めてまいります。 また、安全計画についてはご家族向けにも情報発信を行っておりますが、現状では認識の広がり十分とは言えない状況です。今後は内容をより分かりやすくお伝えするとともに、ご家庭にも関心を持っていただけるような形で共有を行い、より多くの方に関わっていただける運営を目指してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	誰がてんかん発作を起こしやすいのかなど把握していない部分があるので知りたいです。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	おやつ持ち込み、距離を取るなど	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎朝ミーティングなどで共有し、改善策をすぐに考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の事例なし。	
事業所独自の設問	55	ippoで勤務をするようになって変化したこと				日々自分自身を振り返ることが増えました。体力がついた。その日その日にやることリストを組み立てて生活するようになりました。先の先の先を考えるようになった。感情がたくさん動くようになりました！人間らしさが戻ってきた感じがして嬉しいです！あとは、働く前より散歩をしていても子供たちに目がいくようになりました。子供がかわいくてしょうがないです。球団を持つという気持ち。前よりも気持ちが安定した状態で勤務できている。職
	56	こうしたらippoがもっとよくなる！と思うこと				利用者さん一人一人と向き合える時間の確保ができたら嬉しいです。保護者に職員のことを覚えてもらう。多様な価値観に触れ、認め、尊重する。強いて言うならもっと情報共有が出来ればもっと良くなるかと思えます！がんばります。職員の能力の底上げ。研修、実践！思いついたらいいです。
	57	これまで生きてきた中で一番充実していたと感じることは何ですか？				今現在自分のやりたいことをできているので充実しています！大学時代。面白かったことを思い出して笑っているとき。思い出すことが楽しいことばかりだということ。旅行で朝から夕方まで何も食べずに動き回って、夕食で食べた旅館の料理が人生でいちばん美味しかったです。充実していると感じることがないなと思い、悲しくなりま
	58	なぜ充実していたと思いますか？				自分軸を少し持つことができたからだと思います。大学生活には、勉強・体験・娯楽が揃っていたから。つまらないことも面白くするから。充実した日に、我慢した先に元々すごく美味しいご飯が、倍美味しく感じた。悲しいですね。当時は、本気でやっていたし楽しかったのだけれど、浅いところでやっていたとか本質をちゃんとしれていなかったのかなというか…だからこそ毎日好きな音楽をやっている時間が楽しくて、充実していたのかなと思う。深く考えていくほど面白い部分もあるけどしんどくなるよなというか考えることが多くなるなと感じている。でもそこが人間の面白いところだよな。何を言ってるのかかわからないがそんな感じです。
	59	それがippoでも得られるとしたらどういうことをしたら叶いますか？				「いろんな価値観に触れながらも、自分はどうありたいかを考え続けること。その中で経験を積み、判断力を磨いていくことだと思います。1日1つ、学びや娯楽(楽しいこと)を見つめる。全てのことを楽しいと思えるように変換する。楽しいことをした後にはみんなでご飯を食べる！みんなで料理とかピクニックとか。充実の定義ってなんですかね。とりあえず今は球団を持つを最終目標としてこれに向かって頑張っています。お金がたくさんあって、ひとに大切にされているなと感じたら充実するんですかね…。多分。好きなことを活動に取り入れられれば叶うかもしれない。ピアノ弾いたり一緒に歌ったり…とか、？音楽を使っただけプログラムとか、？でもできる気はしない
	60	利用者さん、ご家族にとってどんな職員でありたいですか？				安心感を与えられる職員でいたい。子どもを任せでも安心できると思える、信頼できる、気軽に話しやすい相手。安心、任せて大丈夫！と思ってもらえたらうれしい。第1に安心出来る存在になりたいです。一緒に居ると安心する、この人なら安心出来ると思っていただける職員になりたいです。安心して子どもを預けられる、相談できる存在。寄り添える人であります。
	61	後輩が入ってきたらどんなフォローができると良いですか？				いつでも話しかけやすいオーラを出しておきます。仕事の覚え方は人によって違うので、その人に合った伝え方を考えたい。何に困っているか把握して、その方が自分で課題に乗り越えられるように少しだけプッシュする。子供への関わり方を一緒に関わり教えていく。あとは個人的にマニュアルや簡単に大まかな流れの説明があると初日から動きがもっと分かりやすく、より助かるなと感じました！まずは雰囲気とテンションに慣れてもらう。無理しないで、少しずつ頑張ってもらおう。報連相は大切。困っていらぬ時とかに声をかけたい。
62	チームの仲間や全体にどのように貢献していきたいですか？				安心と安定を土台にしながら、全メンバーの力も活きるようなチームづくりに貢献したいです。一緒にやりやすい存在でいたい。みんなで作った元気を支える。縁の下の力持ち。他の職員と比較しても子供と関わってきている時間が短いので、その点を周りのスタッフさんから学び補いながら、作業療法士として知識と技術を身につけて子供たちにも、職員や施設にとってもいてくれて良かったと少しでも思ってもらえるように頑張りたいです。話しやすい人である。サポートしていきたい。	